

オープンイノベーション実習 テーマ提案 (学生募集内容)

テーマ種別	<input checked="" type="checkbox"/> プログラム主導型 <input type="checkbox"/> 研究室主導型
テーマ名称	将来の都市生活・空間を変革するエレベータのデザイン
実習責任者	デザイン学ユニット 特定准教授 十河 卓司
実施協力者	三菱電機株式会社 先端技術総合研究所
テーマの背景	19世紀に近代エレベータが発明されて以来、エレベータには数々の改良が加えられ現在の姿に至っており、その基本構成は成熟し完成の域に達しているように思われる。本実習では、産学連携のオープンイノベーションにより、将来の都市生活や空間のあるべき姿を創造し、その中でエレベータ、あるいはそれを代替する移動手段が果たすべき役割を検討し、新しい市場を切り開くための突破口を探る。
実習の概要	技術的に優れたエレベータを検討するのではなく、現在、あるいは将来の社会的ニーズを踏まえた新しいエレベータ、あるいは、都市生活に変革をもたらすようなエレベータを検討する(エレベータといっても、現在のエレベータの形である必要はなく、例えば都市空間において人や物を輸送する手段というように、幅のある形で考えてよい)。そのために、協力企業等のステークホルダ、専門家、学生などからなるオープンイノベーションチームを編成し、ワークショップを連続的に開催する。受講者には、ワークショップの実施計画を立案し、オープンイノベーションチームを適切にマネジメントすることを通して、オープンイノベーションを成功に導くことが求められる。
実施計画、実施場所	<ul style="list-style-type: none"> • 実習チーム(受講者と実習責任者)のミーティング、および協力企業とのミーティングは、原則としてデザインイノベーション拠点で実施する。 • 委員会(専門家、学生等によるワークショップ)は、デザインイノベーション拠点、吉田キャンパス内の会議室等にて実施する。 • 必要に応じて、大学や企業の専門家へのヒアリングやフィールドワークを行うことがある。 <p>詳細は実施計画を参照。</p>
受講者の役割	当初の目的が達成されるよう、ワークショップのファシリテーションを含むプロジェクトのオーガナイズを適切に行う。例えば、将来の都市像を描くために都市計画の専門家を招いたり、エレベータの新しい役割を探るために医療や防災の専門家を招いたりする等、委員会メンバーの選定を工夫する。ワークショップでは、専門家の知識を効果的に引き出したり、新しいアイデアを効率的に創出したりするためのファシリテーション方法やデザインプロセスを検討する。ワークショップ開催前の情報収集や、開催後の報告書作成なども適宜行う。
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> • FBL/PBLを経験していること。 (FBL/PBL 1 と 2 の単位を取得している者。または、いずれか一方の単位を取得し、かつ、サマーデザインスクール/デザインスクール in 沖縄/香港のいずれか一つに参加している者。または、これらに相当する知識と経験を有すると認められる者。) • デザイン学共通科目、デザイン学領域科目の単位を取得していること。
募集人数、締切	<p><input checked="" type="checkbox"/>受講者(デザイン学履修者)を募集する 2名以上、4名以下、締切:4月24日(金) 事前に指導教員に相談し、許可を得ること。 応募多数の場合には、専門分野のバランス等を考慮し決定する。</p> <p><input type="checkbox"/>受講者を募集しない</p>

応募方法	以下の項目を記載したメールを送付。 To: takushi.sogo [at] design.kyoto-u.ac.jp Subject: OI 実習参加申込 本文: 氏名、所属、学年、メールアドレス、テーマ名称、応募の動機、その他
受講者の決定	5月1日(金)までにメールで受講の可否を通知。
問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法	ブレインストーミング、未来洞察法、対話によるデザイン、複合チームによるデザイン (参考文献) Vijay Kumar, "101 Design Methods," Wiley & Sons, 2013.
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> • 出席 3 割 (実習チームのミーティングには原則参加のこと) • 活動状況 4 割 (OI チームのマネジメントへの貢献やファシリテーションの実施状況。教員の観察による) • 最終結果の質 3 割 ※実習チーム: 受講者、実習責任者 ※OI チーム: 協力企業等のステークホルダ、委員会委員
知的財産の扱い	今回の実習では、実習中に新たに生じたアイデアに関する知財は公知の扱いとし、Web 等で公開します。その条件を前提として履修を希望してください。
秘密情報の扱い	企業等の秘密情報は扱わない。
特記事項	

実施計画

日程	場所	実施内容
5月11日(月) 16:30~18:00	KRP 拠点	<ul style="list-style-type: none"> • テーマの説明 • (予備日: 5月12日(火) 10:30~12:00)
~7月下旬	KRP 拠点等	<ul style="list-style-type: none"> • 期間中、3~5 回程度のワークショップ (WS) を開催する。 • 各 WS の開催前に主に WS のプログラムについて、WS 終了後には振り返りと次回 WS の方針について、ミーティングを行う。したがって、目安として 6~10 回程度のミーティングを行う。日程は受講者の都合を考慮して決定する。 • ミーティングのほか、委員との調整、WS のプログラムの立案、各種調査などの作業を各自で行う。
8月上旬	KRP 拠点	<ul style="list-style-type: none"> • 報告書の作成、提出 • 最終報告会